

ノ途上ニ於テ資本家階級ハ逸樂ノ一日之長ヲウシ
瀕メニ凡有手段ヲ希シ官憲トシテ人道ノ改良ニ
ル悉致ノ保護ノ下ニ棉糸ヲ悉々セトシワ、アリト
前後シテ本争議ノ原因經過ヲ述ベ會社ノ横暴トシテ
取締ヲ攻撃シ要求貫徹ノ爲メニハ同結シテ館ニ出
ガレ可カラズト云フニアリタルカ出版務協社在館地
正水、大庭角也、小淵一郎、野毛勝之助等ハ資本家
ハ營業ト結託シテ會社ノ暴力同ハ短刀ヲ持テ居
營業ハ何事ヲ涉セズ資本家ハ同結ニ出キ候レテハ
タノ事ノ不穩を論テリ監査役在ニ於テ文々辭論
中止ヲ命ジタルカ一紙ニ感動薄ク且、別項ノ如ク今
夜臨ニトテ勞賃ノ交渉纏リイルヲ以テ殊更氣勢

ノ事ヲル者下ク午位十時東京市一政(會社)
高下山不懸藏、久保田第一等ノ部論多少此等
ノモノアリ各別記ス

石及申(道)報候也